

教科	科目	学年	単位数
数学	数学	1 年	5
使用教科書		副教材	
これからの数学 1・2（数研出版）		体系数学 1 代数編・幾何編（数研出版） 体系数学 2 代数編（数研出版） 体系問題集数学 1 標準 代数編・幾何編（数研出版） 体系問題集数学 2 標準 代数編（数研出版）	

1. 学習到達目標

基本的な知識の習得と技能の習熟を図る。また、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに、数学的な考え方の良さを認識できるようにする。

2. 評価の観点と方法

知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
正の数と負の数、文字を用いた式と一元一次方程式、連立二元一次方程式、平面図形と空間図形、比例と反比例、一次関数、データの分布などについての基礎的な概念や原理・法則などを身に付けるようにする。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 定期試験や、朝テスト、授業などにおける小テストの結果などを総合的に評価する。	数を正の数と負の数まで拡張し、数の概念についての理解を深める。また、文字を用いることや方程式の必要性和意味を理解するとともに、数量の関係や法則などを一般的にかつ簡潔に表現して処理したり、一元一次方程式や連立二元一次方程式を用いたりする能力を養う。 平面図形や空間図形についての観察、操作や実験などの活動を通して、図形に対する直感的な見方や考え方を深めるとともに、論理的に考察し表現する能力を養う。 具体的な事象を調べることを通して、比例、反比例や1次関数 $y=ax+b$ についての理解を深めるとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を培う。 目的に応じて資料を収集して整理し、その資料の傾向を読み取る能力を養う。 定期試験、授業などにおける小テスト、表現活動などを総合的に評価する。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたり、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとしたりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 授業態度、課題への取り組み、振り返り状況などを総合的に評価する。

3. 学習内容（右ページ参照）

4. その他（科目の特徴や学習の注意点など）

これまでの「算数」から「数学」と名称が変わります。計算したり答えを求めたりすることはもちろん、どのような考え方で何を導き出しているのか、それらの考え方がどのように次につながっているのかを学んでいきます。なぜだろう、という気持ちを忘れずに、納得するまで考える習慣をつけて下さい。

	月	単元	授業内容	その他
1 学 期	4	1 代数編 第1章 「正の数と負の数」	1 正の数と負の数 2 加法と減法 3 乗法と除法 4 四則の混じった計算 *素因数分解（移行措置）	・正の数・負の数の意味、数の世界の拡張について理解する。数直線上の位置や大小関係、不等号による表し方を学ぶ。 ・正、負の数の加法・減法の意味およびその規則を理解し、それに基づいて計算する。 ・正、負の数の乗法・除法の意味、規則、逆数の意味を理解し、計算する。 ・かっこを含む計算、四則の混じった計算の順序を理解し、計算する。 ・自然数をいくつかの自然数の積の形に表す。
	5	1 代数編 第2章 「式の計算」	1 文字式 2 多項式の計算 3 単項式の乗法と除法 4 文字式の利用	・数の代わりとしての文字の意味、表し方の決まりを理解する。代入と式の値について学び、計算をする。 ・項と係数、1次式の計算の意味を理解し計算する。 ・単項式どうし、数と多項式の乗・除法の計算を行う。 ・数量の関係・図形の性質を、文字式を用いて説明する。
	6	1 代数編 第3章 「方程式」	1 方程式とその解 2 一次方程式の解き方	・等式と方程式の意味、方程式の解・方程式を解くことの意味を理解する。 ・等式の性質をもとに移項の意味を理解し、その考えを利用して解く。
	7		3 一次方程式の利用	・文章で表された数量の関係を、方程式に表す。文章題を、方程式を利用して解き、その良さがわかる。
	8	1 代数編 第4章 「不等式」 1 代数編 第5章 「1次関数」	1 不等式の性質 2 不等式の解き方 1 変化と関数 2 比例とそのグラフ	・不等式の意味・不等式の解・性質を理解する。 ・様々な形の不等式の解き方を学ぶ。 ・一方が他方の関数となる、伴って変わる2つの数量を見だし、その意味を理解する。 ・比例・座標・グラフの意味を理解し、変化や対応と関連づける。
2 学 期	9		3 反比例とそのグラフ 4 比例、反比例の利用	・反比例の意味・グラフの特徴を理解する ・比例や反比例のグラフを用いて問題を解く。 ・直線・角・円など図形で扱う言葉の意味・性質を理解する。
	10	1 幾何編 第1章 「平面図形」	1 平面図形の基礎 2 対称な図形 3 図形の移動 4 作図 5 面積と長さ	・図形を線対称・点対称の観点で考察し見方を深める。 ・平行移動・回転移動・対称移動について学ぶ。 ・図形の性質をもとにして作図を行う。 ・いろいろな図形の面積と周や弧の長さを求める。 ・角錐・円錐・多面体について学び、正多面体の意味・特徴を学ぶ。
	11	1 幾何編 第2章 「空間図形」	1 いろいろな立体 2 空間における平面と直線 3 立体のいろいろな見方 4 立体の表面積と体積	・平面の決定条件・空間における位置関係・距離について理解する。 ・面が動いてできる図形や立体の切断・投影図・展開図を理解する。 ・柱体や錐体の表面積・体積の求め方を理解し、それらを求める。
	12	1 代数編 2 第5章 「データの活用」	1 データの整理 2 データの代表値 3 データの散らばりと四分位範囲	・度数分布・相対度数・累積度数について特徴を理解し、活用方法を調べる。 ・累積度数、累積相対度数の利便性を学び、表やグラフから解る事を考える。 ・平均値・中央値・最頻値について理解し、求める。 ・近似値・誤差・有効数字について理解する。 ・範囲・四分位数・四分位範囲・箱ひげ図について理解し、データの散らばりや特徴を調べる。
3 学 期	1	1 代数編 第3章 「方程式」	4 連立方程式 5 連立方程式の利用	・2元1次方程式・連立方程式とその解の意味を学ぶ。 ・連立方程式を解く原理を理解し具体的な問題に取り組む。
	2	1 代数編 第5章 「1次関数」	5 1次関数とそのグラフ 6 1次関数と方程式 7 1次関数の利用	・傾き、切片を理解し、グラフを描く。 ・2元1次方程式のグラフの意味を理解し、応用問題を、グラフを用いて解く。
	3			・身の回りの事象を、1次関数を用いて解決する。